

令和3年度山口県公立高等学校入学者選抜

学力検査の結果の概要及び今後の学習指導に向けて

令和3年4月

山口県教育委員会

目 次

ページ

○ 令和3年度山口県公立高等学校入学者選抜のための 学力検査の結果について	1
○ 各教科の結果について	
国語	2
社会	4
数学	6
理科	8
英語	10

令和3年度山口県公立高等学校入学者選抜のための 学力検査の結果について

1 出題の概要

令和3年度の学力検査の出題については、中学校教育の充実と発展に資するよう、中学校学習指導要領に準拠しつつ、以下のとおりとした。

- 基礎的・基本的な内容と応用的な内容について、均衡を図って出題した。
- 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等をみる問題を出題した。

2 結果の総評

- 各教科とも基礎的・基本的な事項に関する問題については、おおむね平素の学習の成果が表れていた。
- 表やグラフなどの資料から分かったことをまとめて適切に表現する力をみる問題や、論理的に考えたり柔軟に思考したりする力をみる問題については、更に努力が必要な状況がみられた。
- 今後とも、学習内容と生活場面・実社会との関連を考えながら学習することにより、学ぶことの意義や有用性を実感し、学習に対する興味・関心を高めることが必要である。また、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けるために、主体的に学習に取り組む態度を養うことが大切である。

1 出題の特徴

- 文学的文章や説明的文章について、基礎的・基本的な事柄について出題するとともに、登場人物の心情や論理の展開の仕方などを、文脈に即して適切に捉える力をみる問題を出題した。
- 古文及び漢文について、古典を読むための基礎的な力とあわせて、話の展開や表現の仕方を確かめながら内容を捉える力をみる問題を出題した。
- 作文の問題について、話合いの内容を踏まえて、題意に即した必要な材料を集め、適切にまとめて文章にする力をみる問題を出題した。

2 結果の概要

- 適切な表現を考える力をみる問題はいま一步であったが、基礎的・基本的な問題及び文章の構成や展開に注意して内容を的確に読み取る問題はできていた。
- 古典の内容を的確に読み取る力や適切な表現を考える力をみる問題は、いま一步であったが、古典を読むための基礎的な力をみる問題はできていた。
- 作文については、必要な材料を集めて適切に表現することができていないものがみられ、いま一步であった。

3 課題がみられた問題例

《問題例①》

一 〈問題文は、森島^{もりしま}いずみ「ずっと見つめていた」から。ここでは省略。〉

(三) 「動か」と同じ活用形であるものを、次の1～4から一つ選び、記号で答えなさい。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 参考として君の意見を聞きたい。 | 2 明日はサッカーの練習に行こう。 |
| 3 博物館には二十分間歩けば着く。 | 4 これから彼は友人に会うらしい。 |

正答 2

【解答の状況】

正答率が低かった。日常の言語活動の中にある言葉のきまりについて、理解が十分ではないと考えられる。

【課題】

日常の言語活動を振り返りながら、言葉の特徴やきまりについて理解をすること。

《問題例②》

二 〈問題文は、阿辻哲次^{あつじてつじ}「日本人のための漢字入門」から。ここでは省略。〉

(四) 「文字が成立する場」とあるが、それはどのような場合か。五十字以内で説明しなさい。

正答例 特定の事物をかたどったフォルムに、他の同種の事物を思い浮かべることができるような普遍性がある場合。

【解答の状況】

傍線部の前にある具体的な例をまとめるだけで、その例が示している筆者の意見を読み取ることができていない解答が多くみられた。

また、「普遍性」など、抽象的な概念を適切に表現することができていない解答も多くみられた。

【課題】

文章の構成や展開、表現の仕方に注意して、内容を的確に読み取り、読み取った内容を適切に表現すること。

4 今後の学習指導に向けて

○ 文章の展開に即して内容を正確に理解する力の育成

言語活動を通して、文章全体と部分との関係に注意しつつ、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えたり、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価したりして、根拠を明確にしながら文章の内容を正確に理解することができるようにする。

○ 適切に表現する力、自分の考えを伝える力の育成

文章の内容を要約したり、自分の考えをまとめたりする活動に加えて、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認しつつ伝えたいことを明確にし、その内容をわかりやすく伝えられるように表現の仕方を工夫できるようにする。

○ 言語感覚を豊かにし、思考力や想像力を養う活動の充実

読書によって自分の生き方や社会との関わり方を考えながら言語感覚を豊かにするとともに、日常の言語活動を振り返り、実際に「話す」「聞く」「書く」「読む」場面を学習の中で意識したり、人との関わりの中で伝え合う力を高めたりして、思考力や想像力を養う。

社会

1 出題の特徴

- 社会的事象に関する基礎的・基本的な知識や概念の理解、技能の習得の程度をみる問題を出題した。
- 地図や統計などの資料を活用し、考察した結果について、適切に表現する力をみる問題を出題した。
- 社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察する力をみる問題を出題した。

2 結果の概要

- 基礎的・基本的な知識や概念の理解をみる問題については、できていたが、知識や概念を活用して適切に表現する力をみる問題については、いま一步であった。
- 地図や統計などの資料を活用し、考察した結果について、適切に表現する力をみる問題については、おおむねできていた。
- 社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察する力をみる問題については、必ずしも十分とはいえなかった。

3 課題がみられた問題例

《問題例①》

5 (略)

- (5) 図 I 中のシェンチェンは、イギリスの植民地であったホンコンに隣接する都市であり、1979年に中国で最初の経済特区が設けられた。中国がシェンチェンなどに経済特区を設けた理由を、「外国企業」という語を用いて説明しなさい。

正答例 外国企業を受け入れて、資本や技術を導入するため。

【解答の状況】

「資本や技術を導入するため」という、外国企業を受け入れる目的について、十分に言及できていない解答が多くみられた。

【課題】

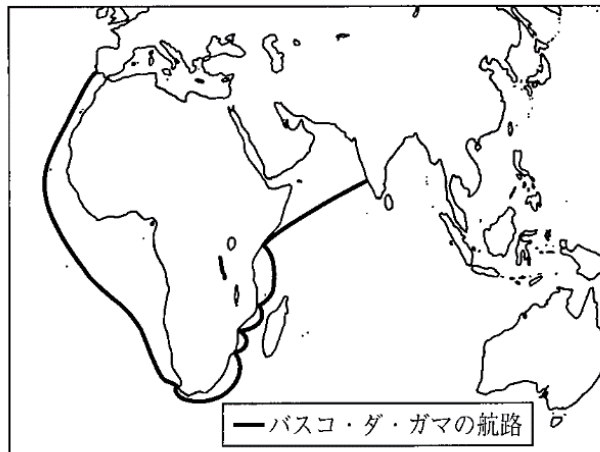
社会的事象に関する基礎的・基本的な知識や概念を確実に身に付けること。

《問題例②》

6 (略)

- (4) 下線部④に関連して、図 I は、15世紀末に、インドに到達したバスコ・ダ・ガマの航路を示した地図である。バスコ・ダ・ガマが、海路でインドをめざすことになったのはなぜか。当時のヨーロッパの人々が求めた品物と、陸路の貿易をにぎっていた勢力にふれて、説明しなさい。

図 I



正答例 香辛料の貿易を、イスラム商人やイタリア商人がにぎっていたから。

【解答の状況】

香辛料の貿易をにぎっていた勢力について、適切に表現できていない解答が多くみられた。

【課題】

学習した内容を、資料と関連付けて適切に表現すること。

4 今後の学習指導に向けて

○ 基礎的・基本的な事項の確実な定着

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して社会的事象に対する関心を高め、社会科の学習を深める上での基礎的・基本的な知識や概念、技能が確実に身に付くようにする。

○ 様々な資料を活用して多面的・多角的に思考し判断する力の育成

地図、年表、写真、新聞、読み物、統計その他の資料に平素から親しみ、内容を正しく読み取るとともに、読み取った内容を他の情報と関連付けて多面的・多角的に思考し判断する力を育成する。

○ 作業的で具体的な体験を伴う学習活動を通して、適切に表現する能力と態度の育成

観察や調査などの過程と結果を整理し報告書にまとめ、発表するなど、問題解決的な学習活動の充実を図ることなどにより、思考・判断したことを適切に表現したり、それらを基に議論したりする能力と態度を育成する。

数 学

1 出題の特徴

- 基礎的・基本的な内容について、知識や概念の理解及び計算技能の習得の程度をみる問題を出題した。
- 数と式、関数、資料の活用などについて、理解の程度をみるとともに、数学的な見方や考え方及び数学的に表現し処理する力をみる問題を出題した。
- 図形の性質や計量について、理解の程度をみるとともに、論理的に思考する力及び数学的に表現する力をみる問題を出題した。

2 結果の概要

- 基礎的・基本的な内容について、知識や概念の理解及び計算技能の習得の程度をみる問題については、よくできていた。
- 数学的な見方や考え方、及び数学的に表現し、処理する力をみる問題については、無答が多く、十分ではなかった。
- 論理的に思考する力及び数学的に表現する力をみる問題については、いま一步であった。

3 課題がみられた問題例

《問題例①》

8 (略)

(2) 下の図のように、2つの一次関数 $y=-x+a$ 、 $y=2x+b$ のグラフがあり、 x 軸との交点をそれぞれP、Qとし、 y 軸との交点をそれぞれR、Sとする。

次の説明は、 $PQ=12$ 、 $RS=9$ のときの、 a と b の値を求める方法の1つを示したものである。

説明中の□にあてはまる、 a と b の関係を表す等式を求めなさい。また、 a 、 b の値をそれぞれ求めなさい。

【考え方】

一次関数 $y=-x+a$ と x 軸との交点は、 $y=0$ のときであるから、 $0=-x+a$ より、 $x=a$ ……①

同様に、 $y=2x+b$ と x 軸との交点は、 $0=2x+b$ より、 $x=-\frac{b}{2}$ ……②

よって、 $PQ=12$ と①、②より、 $a-\left(-\frac{b}{2}\right)=12$ であるから、 $a+\frac{b}{2}=12$

正答例 式 $a+\frac{b}{2}=12$ $a=11$ 、 $b=2$

【解答の状況】

一次関数の特徴について理解が十分ではなく、無答が多くみられるなど、直線と x 軸との関係を適切に表現し、処理することができていない解答がみられた。

【課題】

関数の特徴について、式、表、グラフで捉えるとともに、それらを相互に関連付けることで理解を深めること。

《問題例②》

10 (略)

(2) 横に105個の空き缶を並べ、横の長さADが、縦の長さABより300cm長い空き缶アートをつくる。

このとき、縦に並べる空き缶の個数を x 個として一次方程式をつくり、縦に並べる空き缶の個数を求めなさい。ただし、答えを求めるまでの過程も書きなさい。

【考え方】

横の長さADは、幅6.6cmの空き缶が105個あるので、

$$AD = 6.6 \times 105 = 693 \text{ (cm)}$$

横の長さADが、縦の長さABより300cm長いので、

$$AB = 393 \text{ (cm)} \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

また、縦の長さABは、高さ12.2cmの空き缶が x 個あり、空き缶が重なる部分が $x-1$ あるので、

$$AB = 12.2 \times x - 0.3(x-1) = 11.9x + 0.3 \quad \dots\dots \textcircled{2}$$

①、②より、

$$11.9x + 0.3 = 393$$

$$11.9x = 392.7$$

$$x = 33$$

したがって、縦に並べる空き缶の個数は33個である。

正答例 答えを求めるまでの過程 (略) 答え 33個

【解答の状況】

図形の特徴や性質を問題文から適切に読み取り、数量の関係を、文字を用いて表現することができず、また、表現できた場合でも論理的に表現する力が十分ではなく、整数値ではない解答や無答が多くみられた。

【課題】

式を用いて表したり読み取ったりすることなど、方程式のよさを理解し、一次方程式を用いて考察することができるようにすること。

4 今後の学習指導に向けて

○ 基礎的な概念や原理・法則の定着

一次関数や平方根などの概念や原理・法則を正しく理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したりする技能の一層の定着を図る。

○ 問題解決の過程を数学的に表現・処理する力の育成

数学的活動を通して、筋道を立てて体系的に考えたり、説明し伝え合ったりすることで、言葉や数、式、図、表、グラフなどの相互関係を理解し、表現・処理することで問題解決しようとする力を育成する。

○ 数学的活動を通して事象を論理的に考察する力の育成

日常生活や社会における事象を数学と結び付けて考察したり、処理したりする活動を粘り強く行い、数学を生活や学習に生かそうとし、論理的に説明しようとする態度を育成する。

理科

1 出題の特徴

- 自然の事物・現象について、基礎的・基本的な知識・概念や原理・原則を理解しているかをみる問題を出題した。
- 目的意識をもって観察、実験を行い、得られた結果を科学的に考察し、表現できるかをみる問題を出題した。
- 自然の事物・現象を客観的に捉え、合理的に判断し、筋道を立てて考察・推論できるかをみる問題を出題した。

2 結果の概要

- 自然の事物・現象についての基礎的・基本的な事項に関する問題や観察、実験の技能を問う問題については、できていた。
- 目的意識をもって観察、実験を行い、得られた結果を科学的に考察し、表現する問題については、必ずしも十分とはいえなかった。
- 観察、実験で得られた結果を多面的に考察する問題や、結果を分析して解釈し、与えられた資料と関連付けて捉える力をみる問題については、いま一歩であった。

3 課題がみられた問題例

《問題例①》

5 (略)

[実験]

(略)

- ③ 半透明の紙でつくったスクリーンに、はっきりとした像ができるようにスクリーンの位置を調節し、その位置を記録した。
- ④ ②の虫めがねの位置を、25.0 cm, 20.0 cm, 15.0 cm, 10.0 cm, 5.0 cm にかえて、③の操作を行った。
- ⑤ 記録したそれぞれのスクリーンの位置を、表 1 にまとめた。

表 1

虫めがねの位置 [cm]	30.0	25.0	20.0	15.0	10.0	5.0
スクリーンの位置 [cm]	40.9	36.8	33.3	32.1	50.0	—

- (3) [実験] で調べた中で、スクリーンにできた像が一番大きかったのは、虫めがねの位置が何 cm のときか。次の 1～5 から 1 つ選び、記号で答えなさい。

1 30.0 cm 2 25.0 cm 3 20.0 cm 4 15.0 cm 5 10.0 cm

正答 5

【解答の状況】

「1」を選択する解答が多くみられた。

【課題】

目的意識をもって観察、実験を行い、実験で得られた結果を科学的に考察する力を育成すること。

《問題例②》

9 (略)

- (3) イ 実験を終えたYさんは、T先生と、次の [] のような会話をした。Yさんの発言が、実験の結果と合うように、[あ]、[い]に入る適切な数字を書きなさい。

(略)

T先生： エタノール水溶液の質量パーセント濃度は、火を近づけたときのようにすからも調べることができますよ。

例えば、今の実験室の室温で、取り出された液体に火を近づけたとき、液体が燃えたら、含まれているエタノールが50%以上であるといえます。

Yさん： わかりました。では、50%以上であると考えられる、[あ]本目から [い]本目が燃えることを確かめてみます。

正答例 [あ] 1 [い] 3

【解答の状況】

[あ]を「4」、[い]を「6」とする解答が多くみられ、対話文を読んで、グラフから必要な値を読み取ることはできているものの、グラフから読み取った値を実験で得られた結果と関連付けて捉えることができている解答が多くみられた。

【課題】

結果を分析して解釈し、与えられた資料と関連付けて捉える力を育成すること。

4 今後の学習指導に向けて

○ 科学的な見方や考え方の育成

自然の事物・現象を、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を用いて考えさせるようにする。

○ 科学的に探究する活動を取り入れた観察、実験の重視

自然の事物・現象に進んで関わり、課題を見だし見通しをもって観察、実験を行い、結果を分析して解釈するなど、科学的に探究する活動をより一層重視する。その際、話し合いなどの言語活動を充実させ、観察、実験で得られた結果を互いに共有するとともに、対話を通して多面的に考察し、表現する場面を設定する。

○ 知識・技能を日常生活の様々な場面に活用する力の育成

身近な自然の事物・現象を授業で取り上げ、理科を学ぶことの意義や有用性を実感させるとともに、観察、実験などの体験的な活動を通して、理科の学習で得た知識及び技能を活用して課題を解決する力を育成する。

英 語

1 出題の特徴

- リスニングテストについて、身近な事柄に関する対話などを聞いて、要点を正しく捉える力、適切に応答する力、必要な情報を書き取る力をみる問題を出題した。
- 英文を読んで、日常的な会話表現を使う力、前後の流れから判断して英語で適切に表現する力、文脈を正しく理解し、概要・要点を的確に捉える力などをみる問題を出題した。
- 与えられた条件に合うように、語と語のつながりなどに注意しながら、正しい語順や語法を用いて英語の文を書く力をみる問題を出題した。

2 結果の概要

- 身近な事柄に関する対話を聞いて理解する力をみる問題は、よくできていたが、必要な情報を正しく聞き取り、適切に書く力をみる問題は、十分ではなかった。
- 対話文や物語などを読んで、資料の概要や要点を的確に捉える力をみる問題は、おおむねできていたが、一部に課題もみられた。
- 文脈を踏まえ、語と語のつながりなどに注意しながら、正しい語順や語法を用いて英文を完成させる問題は、いま一步であった。

3 課題がみられた問題例

《問題例①》

1 テスト3 <問題文、【Wilson先生の話】、【メモ】は一部省略>

今から、そのときのWilson先生の話聞いて、その内容に合うように、下線部(A), (B), (C)にはそれぞれ話の中で用いられた英語1語を、下線部(D)には場面にふさわしい4語以上の英語を書きなさい。

【Wilson先生の話】

After the class, I'll show you a short video. It's about the events like the school festival at this school. I hope you'll be interested in them. Now let's start the class!

【メモ】

We will _____ (D) _____. It's about the events at this school.

正答例 watch a short video

【解答の状況】

show a short video などとする解答が多くみられた。また、無答も多くみられた。

【課題】

まとまりのある英語を聞いて、情報を正確に聞き取り、正しく表現すること。

《問題例②》

7

〈【本文】、問題文は一部省略〉

【本文】

There were various colors and patterns, so Nancy was surprised. She said, “I like the red flowers on this *yukata*. It’s so cute. ウ” Misato said, “Why don’t you wear it? It’s my *yukata* now, but my mother also wore it when she was young. My grandmother made it.” Nancy said, “Wow! You’ve kept it for many years.”

- (3) 本文の内容に合うように、次の下線部①～③に入る適切な英語を、1語ずつ書きなさい。ただし、() 内に与えられた文字で書き始めなさい。

You and your mother wore the ②(s _____) *yukata* before, right?

正答例 same

【解答の状況】

本文の内容を踏まえて「同じ」という意味の英語が正答となるが、本文と関連のない some や summer などとする解答が多くみられた。

【課題】

代名詞の表すものを正しく捉えるなどしながら、書き手の伝えようとすることを正確に読み取ること。

4 今後の学習指導に向けて

○ 基礎的・基本的な事項の確実な定着

実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの活動を行う際には、小学校で指導された内容も踏まえ、基礎的・基本的な語彙や文法事項、表現等について、理解を深める活動や、繰り返し練習する活動等を適宜組み合わせるなどして、基礎的・基本的な事項の確実な定着を図る。

○ 目的に応じて内容を把握する力の育成

書かれたものを読んで必要とする情報を読み取ったり、まとまりのある文章を読んで書き手が伝えたいことの大まかな内容や伝えようとしている要点を把握したりする活動を通して、一語一語の意味の確認や、一文一文の解釈などの断片的な学習に留まることなく、目的に応じて様々な読み取り方ができる力を育成する。

○ 情報が正しく伝わるように話したり書いたりする力の育成

授業での教員・生徒間及び生徒同士の英語によるやりとりや、「メール、日記、スピーチの原稿を書く」などの活動の中で、基本的な語彙や表現に親しむ機会を多く作り、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、伝えたいことを相手に正しく伝わるように話したり書いたりする力を育成する。